

ぶん活かわら版

発行日：令和2年（2020年）7月29日

発行者：滋賀県文化スポーツ部

文化財保護課文化財活用推進室

第24号

（電話番号：077-528-4681）



安土城、見えるかな！？

滋賀県には1,300を超える城が築かれていましたが、現在、建造物として当時の姿を見ることができるのは彦根城だけです。では、他の城は全く残っていないかというと、そうではありません。例えば彦根城は、天守は大津城から、天秤櫓は長浜城から移築されたといわれています。また、県内の社寺の門は、城から移築された門も複数あります。こうした「お城のリユース」をテーマとした企画展を安土城考古博物館で開催しています（～9/13）。

安土城も、焼失を免れていたらどこかに移築されたのでは！？と想像されますが、実は火の手の及ばなかった建造物も、その後どのようになったかは分かっていません。また最近、安土城跡の3次元測量の結果、新たな郭跡が確認されました。幻の城・安土城は謎とロマンが尽きません。

夏の体験☆おすすめ文化財

●西野水道（長浜市）【県指定史跡】

江戸時代の手掘りのトンネル。一人の幅の真っ暗なトンネルが、琵琶湖まで続く。ヘルメットと長靴を身に付け、懐中電灯を手に、探検家気分が味わえる。（写真★→）



●三井寺（園城寺）（大津市）【金堂（国宝）をはじめ、多数の文化財を所有】

写経・座禅体験はもちろんのこと、珍しい写仏体験や山伏体験もできる。（体験は全て事前予約要）8月1日（土）～3日（月）19：00～21：00に、「三井寺妖怪ナイト」開催予定（雨天中止）。

●伊吹山頂草原植物群落（米原市）【国指定天然記念物】

滋賀県最高峰。登山でもドライブでも楽しめる。山頂部にお花畑が広がる。



●河内の風穴（多賀町）【県指定天然記念物】

関西でも有数の鍾乳洞。洞内は12～13℃で、天然のクーラーを体感できる。

●日本遺産を体験！

【琵琶湖とその水辺景観】沖島（近江八幡市）：海なし県の離島。約10分の船旅&島体験。（写真★↑）

【忍びの里 伊賀・甲賀】甲賀忍術博物館建物群（甲賀市）：忍術村内にあり、忍者体験が大人気！

【きっと恋する六古窯】信楽焼（甲賀市）：陶芸体験ができたり、旧伝統産業会館内ではスカーレットのドラマ撮影で使われたセットや小道具の展示も。

夏休み博物館イベント情報

※いずれも、マスクの着用など、新型コロナウイルス感染対策を行った上でおでかけください。発熱・せき込み等の症状がある方は参加をお控えください。

日にち	博物館名	イベント名	時間	申込み・問合せ先
～9月27日 （日）	史跡草津宿本陣	本陣四季彩々～夏の本陣～ ほんじんクイズラリー！	開館時間	予約不要 077-561-6636
8月15日 （土）		ほんじんナイトミュージアム！	①18:30～ ②19:00～ ③19:30～ ④20:00～ ※各時間の入館者 19名まで	事前申込要 077-561-6636
8月23日 （日）	愛荘町立 歴史文化博物館	ワークショップ 「昔のおもちゃ・ゲームで遊ぶ」	10:30～16:00	予約不要・当日受付 0749-37-4500

疫病と信仰

いつの世も、人々は病の平癒を願い、祈り、信仰してきました。新型コロナウイルスの疫病退散として、今は「アマビエ」がブームとなっていますが、滋賀県でも様々な形で祈りの形が残っています。ここには、多様な文化を受け入れ、取り込む先進性や柔軟性を見ることができます。

<角大師（つのだいし）>

比叡山中興の祖と言われる慈恵大師（元三(がんざん)大師・良源)が、疫病退散祈願をした時の姿を描き写したものを、これを戸口に貼れば、疫病や災厄から逃れられるとされた。

【関連文化財】比叡山延暦寺（横川）四季講堂（元三大師堂）：重要文化財

元三大師の住居跡と伝えられており、現在はおみくじ発祥の地としても有名。



<鍾馗（しょうき）さん>

元は、中国唐の時代に、皇帝の病魔を追い払い、治したという鍾馗さんの姿が邪気を払うとされた故事から。それが日本に伝わり、絵画や人形にされた。

【関連文化財】近江八幡市八幡・彦根市河原町芹町地区：重要伝統的建造物群保存地区

まち中を歩くときに、屋根に注目！鍾馗さんの瓦像が魔除けで置かれているかも。

★世界風博物館東近江大風会館では、8月24日まで鍾馗さんなどが描かれた風を展示中。



<仏>

- ・薬師如来：左の掌に薬壺を持ち、病を防ぐという。比叡山延暦寺根本中堂の本尊は最澄が自ら刻んだ薬師如来立像と伝えられており、その影響で滋賀県下では多くの薬師如来像が制作され、国指定文化財の薬師如来像は全国一を誇る。
- ・十一面観音：あらゆる方向に顔を配し、あらゆる所に現れ、声を聞いてくれるという。病除けのご利益もあるとされる。滋賀県では平安時代に疱瘡（ほうそう）が流行った際に、信仰され、多く制作された。向源寺（長浜市）の十一面観音立像【国宝】は日本一美しいとも言われる、日本彫刻史上の傑作で近江の至宝である。
- ・千手観音：転利（コロリ）観音として知られる赤後寺（長浜市）の木造千手観音立像【重要文化財】は、手首などを失った破損仏の姿である。地域では、身代わりとなった姿であると篤く信仰されている。「コロリ」は、「コレラ」から派生したとも言われており、コレラ封じの意味もあるとされる。

<牛頭（ごず）天王・スサノオノミコト>

牛頭天王はインドの神で、病気を流行らせる神様とされたが、神仏習合でスサノオノミコトと同一視された。疫病は御霊の祟りであるとされた平安時代に、御霊を鎮めるための祭りが行われるようになった。祇園祭もその一つであり、滋賀県では大鳥神社（甲賀市）の大原祇園

【県指定無形民俗文化財】や津島神社（近江八幡市）の浅小井祇園まつり（写真★↑）が知られる。

